事務事業評価シート　令和　4　年度事後評価・決算

令和　5　年 12　月　1　日

事業コード・事務事業名	42600①	スポーツ振興事業（各種スポーツイベント）（競技団体への支援）

施策体系			
基本施策	6	スポーツの振興
施策の展開	14	スポーツ活動の充実
戦略事業名	64	スポーツ振興事業（各種スポーツイベント）

予算科目	会計	款	項	目
	一般	10	5	1
所管課	体育振興課			
担当班	体育振興班			
開始年度	不詳			
根拠法令	旭市スポーツ振興事業補助金交付要領			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☑ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R4主要事業

（1）事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容（何をする事務事業なのか）

1. 競技団体への支援
①スポーツ協会、②スポーツ少年団の各種競技団体が行うスポーツ活動を支援するため、運営費に対して補助金を交付する。
2. 各種スポーツイベントの運営補助
①市民がスポーツを通じて交流を広げ、心身の健康と生きがいづくりを増進するため、誰でも気軽に参加できるスポーツイベントやスポーツ大会を開催する団体等に補助金を交付する。
②スポーツ大会を通して市のPRを行える大会等に対して補助金を交付する。

② 開始の経緯（なぜこの事務事業を始めたのか）

・各団体、実行委員会等が、スポーツを通じて市民の一体感を醸成するため、各種スポーツイベントやスポーツ大会を開催。

③ 環境の変化・課題・意見等（現状で問題などはあるか）

・市民体育祭は発展的解消（廃止）とし、誰もが自由に、気軽に参加できる新規イベント「あさひスポーツフェスティバル」を令和4年度に立ち上げた。今後は市民のスポーツ実施率向上に寄与すべく、より一層のイベントの浸透が必要。

④ 事務事業の目的と位置付け（何を目指しているのか）

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
・競技団体への支援 ・各種スポーツ大会の運営補助	・旭市スポーツ協会及び旭市スポーツ少年団へ補助金を交付 ・あさひスポーツフェスティバルや旭市民駅伝大会への補助金の交付及び大会運営	市民のスポーツ活動を促進し、健康増進とスポーツ実施率の向上を図る。	スポーツ活動の充実	スポーツの振興	結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

（2）活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績

【競技団体への支援】
・旭市スポーツ協会、旭市スポーツ少年団ともに多くの大会が3年ぶりに開催されたが、スポーツ少年団の交流大会の一部は中止となった。
【各種スポーツ大会の運営補助】
・あさひスポーツフェスティバルや旭市民駅伝大会は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら開催した。一方で市民スポーツ大会（地区体育祭）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべての地区で中止となった。

② 活動指標

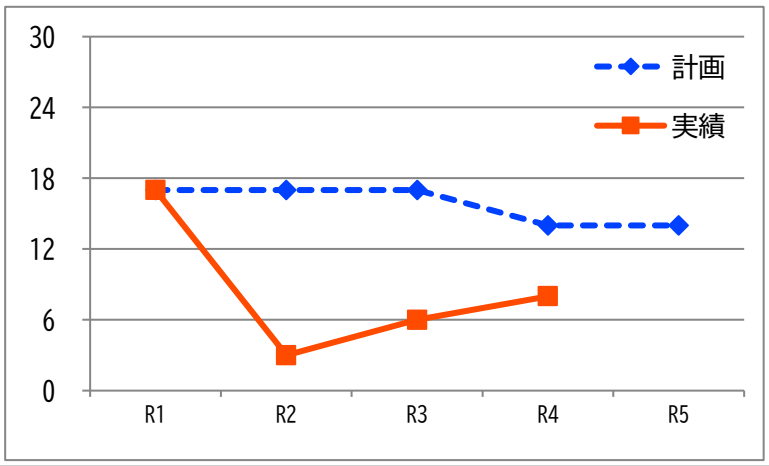
	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	補助金（運営費）交付団体数	団体	計画	3	3	3	2	2
			実績	3	2	2	2	
イ	スポーツイベント・大会開催数	回	計画	10	9	9	7	7
			実績	9	1	1	5	

③ 成果指標

	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	補助金交付団体が参加・主催・後援等するスポーツイベント・大会数	増やす	回	計画	17	17	17	14	14
				実績	17	3	6	8	
イ	主要スポーツ大会（あさひスポーツフェスティバル※R3までは市民体育祭、市民駅伝大会、市民スポーツ大会）の参加者数　＝KPI	増やす	人	計画	9,636	9,498	9,500	4,100	4,100
				実績	6,498	0	0	2,030	

④成果指標の動向

指標ア　補助金交付団体が参加・主催・後援等するスポーツイベント・大会数



指標イ　主要スポーツ大会（あさひスポーツフェスティバル※R3までは市民体育祭、市民駅伝大会、市民スポーツ大会）の参加者数　＝KPI

(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算
費目内訳	1. 市民体育祭補助金	3,671	0	0	－	－
	2. 市スポーツ協会補助金	2,160	1,771	2,189	2,389	2,389
	3. 市民駅伝大会補助金	1,873	0	0	1,873	1,873
	4. スポーツ大会招致・開催補助金	1,747	0	1,603	2,500	3,000
	5. あさひスポーツフェスティバル開催補助金	－	－	－	2,834	3,490
	合計	9,451	1,771	3,792	9,596	10,752
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	3,671	0	612	7,207	8,363
	一般財源	5,780	1,771	3,180	2,389	2,389
	一般財源の比率	61.2%	100.0%	83.9%	24.9%	22.2%

② 従事職員数

常時	3	人

最大	43	人	×	1	日	=	延べ	43	人

③ 各費目の詳細(R4決算)

1.市民体育祭補助金	
2.市スポーツ協会補助金	市スポーツ協会補助金
3.市民駅伝大会補助金	旭市民駅伝大会
4.スポーツ大会招致・開催補助金	世界ユース卓球選手権大会日本代表選考会、パラ卓球合宿
5.あさひスポーツフェスティバル開催補助金	あさひスポーツフェスティバル

④ 特定財源の詳細(R4決算)

国・県支出金	
地方債	
その他	地域振興基金

⑤ R3→R4　増減理由

【市民体育祭補助金】事業中止（廃止）のため。
【市スポーツ協会補助金】微増のみ。
【市民駅伝大会補助金】令和3年度は感染症の影響で中止であった事業を実施したため。
【スポーツ大会招致・開催補助金】世界ユース卓球選手権は開催日数が4日から6日となり、宿泊費や役員報酬などが増加したため。また、令和4年度からパラ卓球ナショナルチームの合宿を新たに実施したため。
【あさひスポーツフェスティバル】令和4年度からの新規事業であるため。

(4)事務事業に関する評価

	判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗	概ね順調	各種大会・イベントの見直しを図りつつも、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったイベントの多くが3年ぶりに開催できた。

② 成果指標の推移（R3→R4）		判定	分析(変動の要因や対策について)
	指標ア	向上	新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった大会の一部が3年ぶりに開催された。
	指標イ	向上	新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったイベントの多くが3年ぶりに開催された。

③ 今後の方向性（①・②を踏まえたR5以降の方針）	判定	方針	判定・方針の詳細
	継続実施		事業の実施により市民のスポーツ活動を促進することができた。今後も各団体への補助やスポーツイベントの実施を継続しつつ、市民が参加しやすい、参加してみたいイベントになるよう内容を検討していく。

事務事業評価シート　令和 4 年度事後評価・決算

令和 5 年 12 月 1 日

事業コード・事務事業名	42600②	スポーツ振興事業（しおさいマラソン）（日独交流事業）

施策体系			
基本施策	16	交流の促進
施策の展開	32	交流事業の促進
戦略事業名	148	スポーツ振興事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	10	5	1
所管課	体育振興課			
担当班	体育振興班			
開始年度	平成元年度			
根拠法令	旭市補助金等交付規則ほか			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☑ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R4主要事業

（1）事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容（何をする事務事業なのか）

【しおさいマラソン】平成元年度～・市民ランナーによるマラソン大会の開催。≪実施団体≫旭市スポーツ協会主催、旭市・旭市教育委員会共催、旭市飯岡しおさいマラソン大会実行委員会主管≪実施時期≫2月第1日曜日≪開催種目≫2km（親子の部）、3km（小学生）、5km（中学生・一般）、ハーフマラソン（一般）≪会場≫しおさいスタジアム（旭市サッカー場）≪コース≫市内海岸通り（県道30号）
【日独交流事業】千葉県とドイツ・デュッセルドルフ市との卓球交流事業で、相互往来によるスポーツ交流を実施している。隔年で来県しているが、来県時には旭市を会場として開催し、スポーツや文化など様々な分野でのコミュニケーションを図る。

② 開始の経緯（なぜこの事務事業を始めたのか）

【しおさいマラソン】平成元年に旧飯岡町で町民の健康増進、地域の活性化のために始まった。
【日独交流事業】平成21年度から旭市を会場として開催。ドイツ・デュッセルドルフ市との卓球交流事業を通じて、国際社会で活躍できる人材を育成し、国際人の育成と競技力向上を目指す。

③ 環境の変化・課題・意見等（現状で問題などはあるか）

【しおさいマラソン】飯岡地域のみで開催していたが、市町村合併及び震災により、飯岡地域、旭地域を走るコースへ平成23年度に変更したが、本大会への考え方や取り組みに地域の温度差がある。また、旭市スポーツ協会の事業であるが、実行委員会事務局を体育振興課で行っており、市職員の負担が増加している。参加者からは、地域のボランティアの温かさを感じる良い大会であるという意見が多いが、参加者数は平成27年度をピークに減少傾向にある。同時期のマラソン大会が全国的に多数開催される中、集客が課題である。ポスターやチラシだけでなく、HPやSNSを使用した情報発信等が必要である。
【日独交流事業】隔年開催の事業であるが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により開催できていない。

④ 事務事業の目的と位置付け（何を目指しているのか）

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
・旭市飯岡しおさいマラソン大会 ・日独交流事業	・市民及び全国のマラソン愛好者を対象に市民マラソン大会を開催する。 ・ドイツ・デュッセルドルフ市との卓球交流を実施する。	・マラソン大会の開催により、地域の魅力をPRし、全国のマラソン愛好者による交流を促進する。 ・ドイツ・デュッセルドルフ市との交流通じて国際社会への理解を深める。	交流事業の促進	交流の促進	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

（2）活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績

【旭市飯岡しおさいマラソン大会】
・令和4年10月1日～12月1日まで参加者を募集し、令和5年2月5日に大会を開催した。
・コースやメイン会場の見直しを行った。
【日独交流事業】
・新型コロナウイルス感染症の影響でドイツから来日できず、実施できなかった。

② 活動指標

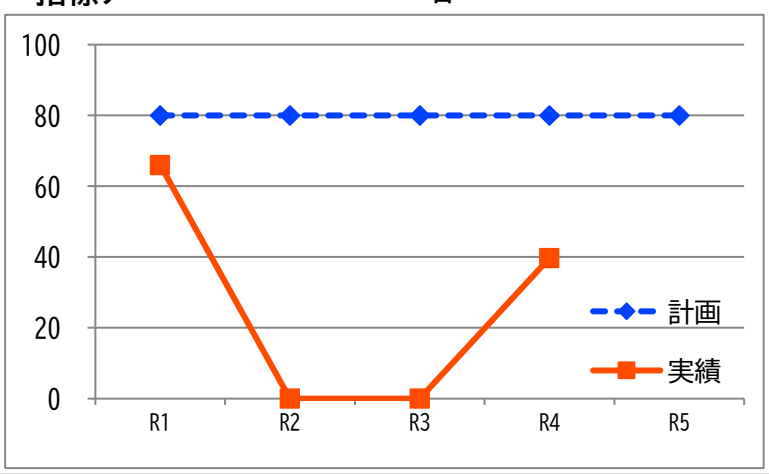
	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	（しおさいマラソン）ポスター・チラシ・募集要領・プログラムの作成・配布部数	枚	計画	17,400	17,400	17,400	16,800	13,700
			実績	17,400	0	0	13,700	
イ	（日独交流事業）交流日数	日	計画	0	0	7	7	6
			実績	0	0	0	0	

③ 成果指標

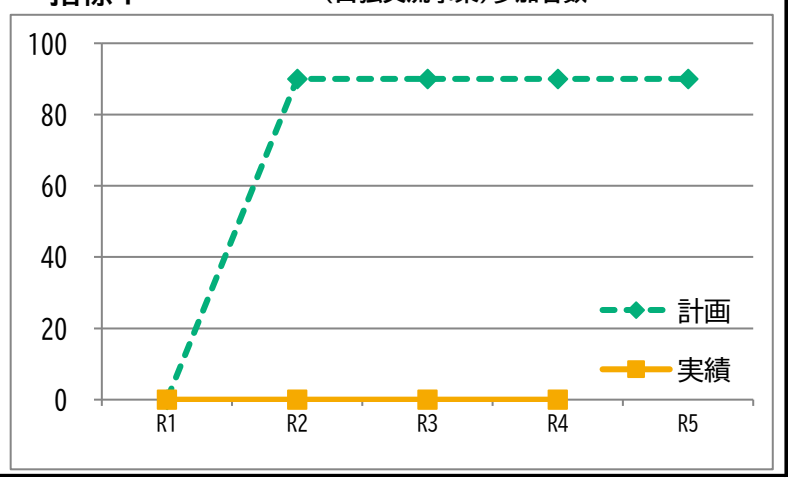
	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	（しおさいマラソン）参加者定員に対する申込者数の割合	増やす	%	計画	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
				実績	66.0	0.0	0.0	39.7	
イ	（日独交流事業）参加者数	増やす	人	計画	0	90	90	90	90
				実績	0	0	0	0	

④成果指標の動向

指標ア　（しおさいマラソン）参加者定員に対する申込者数の割合



指標イ　（日独交流事業）参加者数



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算
費目内訳	1. 飯岡しおさいマラソン大会補助金	5,110	1,159	922	8,000	7,440
	2. 日独交流事業開催補助金	0	0	0	0	500
	合計	5,110	1,159	922	8,000	7,940
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	5,110	1,159	922	8,000	7,440
	一般財源	0	0	0	0	500
	一般財源の比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%

② 従事職員数

常時	1	人					
最大	142	人	×	1	日	= 延べ	142 人

③ 各費目の詳細(R4決算)	
1.飯岡しおさいマラソン大会補助金	旭市飯岡しおさいマラソン大会への補助金
2.日独交流事業開催補助金	日独交流事業への補助金

④ 特定財源の詳細(R4決算)	
国・県支出金	
地方債	
その他	地域振興基金で充当

⑤ R3→R4　増減理由

【飯岡しおさいマラソン大会補助金】R3年度は中止であった事業を実施したため。

(4)事務事業に関する評価

		判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗		概ね順調	【しおさいマラソン】2年間中止であった大会を3年ぶりに開催したため、前年比の数値では上昇しているが、コロナ前の数値と比較すると少なくなっている。 【日独交流事業】令和4年度は新型コロナウイルスの影響により、来日できず中止となったため、令和5年度に開催する予定。
② 成果指標の推移（R3→R4）	指標ア	判定 好調維持	分析(変動の要因や対策について) 【しおさいマラソン】3年ぶりの大会開催により、チラシの配布枚数は前年よりも大きく増加している。なお、大会プログラムは全員配布としない代わりに、大会ホームページから閲覧できるよう、電子データを掲載した。
	指標イ	判定 伸び悩み	分析(変動の要因や対策について) 【日独交流事業】新型コロナウイルス感染症の影響で来日できず実施できなかった。

	判定	方針	判定・方針の詳細
③ 今後の方向性（①・②を踏まえたR5以降の方針）	継続実施		【しおさいマラソン】前回大会では感染症拡大防止のため、例年好評であったイチゴのロードサービスや豚汁・お汁粉の無料配布は中止とした。これらの復活を望む声も多く、市のPRの機会でもあるため、おもてなしの拡充を図り、参加者増加につなげていきたい。 【日独交流事業】国際社会に触れる貴重な機会であることから、ホストタウン登録されたことも活かしつつ、交流を継続していきたい。

事務事業評価シート　令和 4 年度事後評価・決算

令和 5 年 12 月 1 日

事業コード・事務事業名	42800	社会体育施設管理費

施策体系			
基本施策	6	スポーツの振興
施策の展開	15	スポーツ施設の維持管理
戦略事業名	66	社会体育施設管理

予算科目	会計	款	項	目
	一般	10	5	2
所管課	体育振興課			
担当班	体育施設班			
開始年度	平成17年度			
根拠法令	旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☑ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R4主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

旭文化の杜公園庭球場、海上野球場、海上コミュニティ運動公園野球場、飯岡体育館・野球場、いいおかふれあいスポーツ公園サッカー場・ソフトボール場・多目的広場、干潟さくら台野球場、サッカー場の維持管理業務(10施設)
【使用申請受付】
①インターネットによる使用申込受付。(インターネット抽選による申請は市民優先)
②電話・来館による使用申込受付。(総合体育館、飯岡体育館、サッカー場)
※大会等の予定は、前年度から利用調整が行われ事前に年間決定し、通常利用は2ヵ月前から申請可能で、個人利用は当日のみ利用可。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

平成17年7月1日の1市3町の合併から、それぞれの市町で整備された社会体育施設の管理運営事業を開始した。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

・平成17年7月1日合併時の社会体育施設は、13施設あったが、平成24年3月に海上体育館及び海上庭球場を廃止、平成24年4月に文化の杜公園庭球場を新設、令和2年度に飯岡児童体育館を廃止、令和3年度に卓球場及び飯岡庭球場を廃止、令和4年4月にサッカー場を新設、令和5年3月に干潟さくら台庭球場が廃止され現在10施設を管理運営している。
・施設の老朽化が進んでいることから、個別施設計画に基づき施設の長寿命化や類似施設の廃止、統廃合が検討課題となっている。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
施設の良好な環境を整えるため、維持補修を行う。	利用者が安全かつ快適に施設を利用できる。	施設の利用促進が図られる。	スポーツ施設の維持管理	スポーツの振興	結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績

【施設の良好な環境を整えるため、維持補修を行う。】
①施設の適正な維持管理、利用者の予約受付
②施設の貸し出し、料金徴収
③施設修繕等
・海上コミュニティ運動公園野球場芝張工事
・飯岡体育館仕切りネット設置工事
・いいおかふれあいスポーツ公園ソフトボール場排水施設修繕工事
・いいおかふれあいスポーツ公園公衆トイレ修繕工事
・いいおかふれあいスポーツ公園ベンチ修繕工事
・海上コミュニティ運動公園野球場観覧席修繕工事
・飯岡野球場フェンス修繕工事
・サッカー場水栓取替工事
・干潟さくら台野球場スポーツトラクターの購入
④民間のノウハウを最大限活用し、利用者サービスの向上に資するため、指定管理者の公募を実施し、指定業者と基本協定を締結

② 活動指標

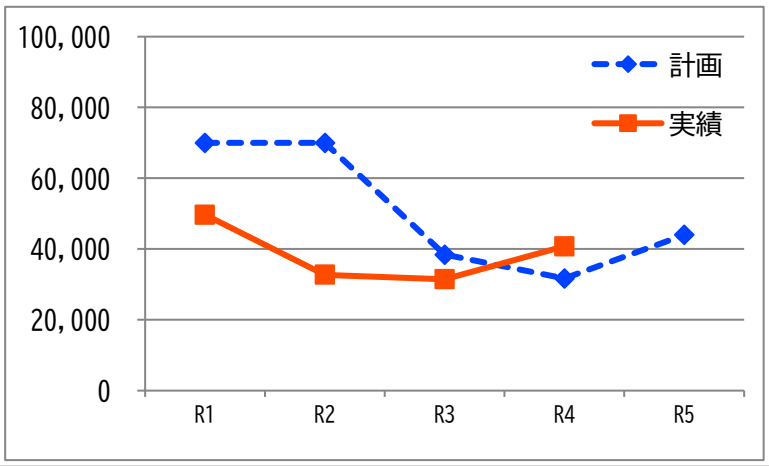
	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	施設の修繕料	千円	計画	3,177	2,514	2,662	5,075	456
			実績	2,273	2,066	3,696	6,673	
イ	10万円以上の修繕件数	件	計画	7	7	7	6	1
			実績	16	6	5	9	

③ 成果指標

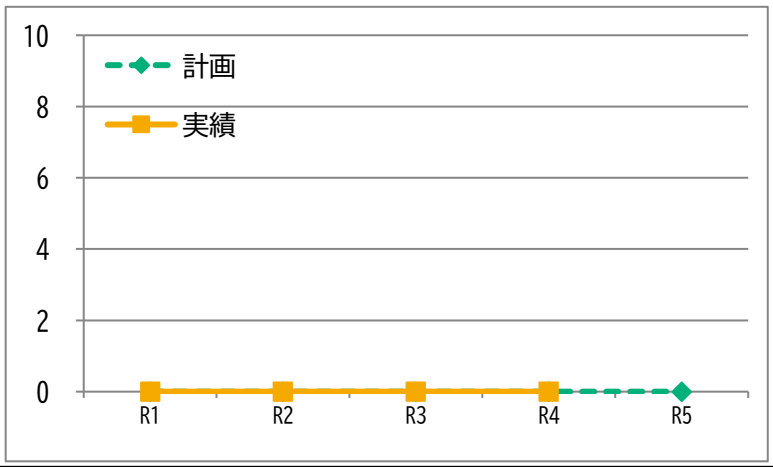
	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	管理している社会体育施設の延べ利用者数	増やす	人	計画	70,000	70,000	38,440	31,700	44,000
				実績	49,672	32,728	31,454	40,773	
イ	施設の維持管理に起因した事故件数	減らす	件	計画	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	

④成果指標の動向

指標ア　管理している社会体育施設の延べ利用者数



指標イ　施設の維持管理に起因した事故件数



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算
費目内訳	1. 臨時雇賃金	4,942	5,467	6,349	9,132	0
	2. 需用費	10,575	9,471	10,465	16,371	538
	3. 委託料	9,397	8,849	9,255	10,810	47,990
	4. 工事費	21,372	0	21,206	0	0
	5. その他	2,520	3,027	2,846	4,086	883
	合計	48,806	26,814	50,121	40,399	49,411
財源内訳	国･県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	2,751	1,748	2,775	3,681	0
	一般財源	46,055	25,066	47,346	36,718	49,411
	一般財源の比率	94.4%	93.5%	94.5%	90.9%	100.0%

② 従事職員数

常時	2	人						
最大		人	×		日	=	延べ	人

③ 各費目の詳細(R4決算)

1.臨時雇賃金	臨時職員賃金（飯岡体育館2名・スポーツ公園2名）
2.需用費	光熱水費、修繕料等
3.委託料	野球場外野芝生維持管理委託、トイレ清掃委託等
4.工事費	
5.その他	労災等保険料、通信運搬費、原材料費等

④ 特定財源の詳細(R4決算)

国･県支出金	
地方債	
その他	使用料

⑤ R3→R4　増減理由

1. サッカー場会計年度職員１名増員による増
2. 電気料金高騰による増
3. サッカー場夜間管理人委託料の増
4. 卓球場解体撤去工事費の減
5. スポーツトラクター購入による増

(4)事務事業に関する評価

	判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗	概ね順調	個別施設計画に基づき、施設の廃止や長寿命化を推進しているが、一部施設では計画より遅れが見られる。 指定管理者制度導入により、民間活力を活用した施設の管理運営が図られる。

② 成果指標の推移（R3→R4）		判定	分析(変動の要因や対策について)
	指標ア	向上	飯岡体育館の2分の1利用を新たに設定したことにより、利用者の利便性向上が図られた。 令和3年度に卓球場、飯岡庭球場を廃止したが、令和4年度にサッカー場を新設したことにより、利用者数が増加した。
	指標イ	好調維持	適正に維持管理を行ったことにより、事故の発生がなかった。

③ 今後の方向性（①･②を踏まえたR5以降の方針）	判定		方針	判定･方針の詳細
	見直し	➡	その他	･社会体育施設9施設において、指定管理者による管理運営を行う。 ･海上野球場については、用途を廃止し消防署用地として活用する。

事務事業評価シート　令和　4　年度事後評価・決算

令和　5　年 12　月　1　日

事業コード・事務事業名	42900	総合体育館管理費

施策体系			
基本施策	6	スポーツの振興
施策の展開	15	スポーツ施設の維持管理
戦略事業名	67	総合体育館管理

予算科目	会計	款	項	目
	一般	10	5	2
所管課	体育振興課			
担当班	体育施設班			
開始年度	平成9年度			
根拠法令	旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R4主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

総合体育館、スポーツ公園内の野球場・庭球場等の公園内施設、弓道場の維持管理業務。(弓道場は弓道協会に管理を依頼)
健康づくり運動推進事業(軽体操・ヨガ等スポーツの講座)として活動場所を提供。
【使用申請受付】
①インターネットによる使用申込受付。(インターネット抽選による申請は市民優先)
②電話・来館による使用申込受付。(総合体育館)
※大会等の予定は、前年度から利用調整が行われ事前に年間決定し、通常利用は2ヵ月前から申請可能で、個人利用は当日のみ利用可。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

・旧旭市において、平成9年4月に生涯スポーツの普及を図るため、総合体育館をはじめとするスポーツ施設を整備し、管理運営事業を開始した。
・弓道場については、弓道の普及を図るため、昭和61年4月から供用を開始した。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

・利用者や活動内容が多様化しており、状況に合わせた対応が必要である。
・コロナ禍で減少した利用者を、回復させる方策を検討する必要がある。
・利用者から大きな大会等が開催される際に、駐車場が不足している旨の意見が寄せられる。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
施設の良好な環境を整えるため、維持補修を行う。	利用者が安全かつ快適に施設を利用できる。	施設の利用促進が図られる。	スポーツ施設の維持管理	スポーツの振興	結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績

【施設の良好な環境を整えるため、維持補修を行う。】
①施設の適正な維持管理、利用者の予約受付
②施設の貸し出し、料金徴収
③施設修繕等
・総合体育館非常放送設備改修工事
・スポーツの森公園野球場照明設備修繕工事
・スポーツの森公園ストリートバスケット場フェンス修繕工事
・スポーツの森公園共同アンテナ撤去工事
④民間のノウハウを最大限活用し、利用者サービスの向上に資するため、指定管理者の公募を実施し、指定業者と基本協定を締結

② 活動指標

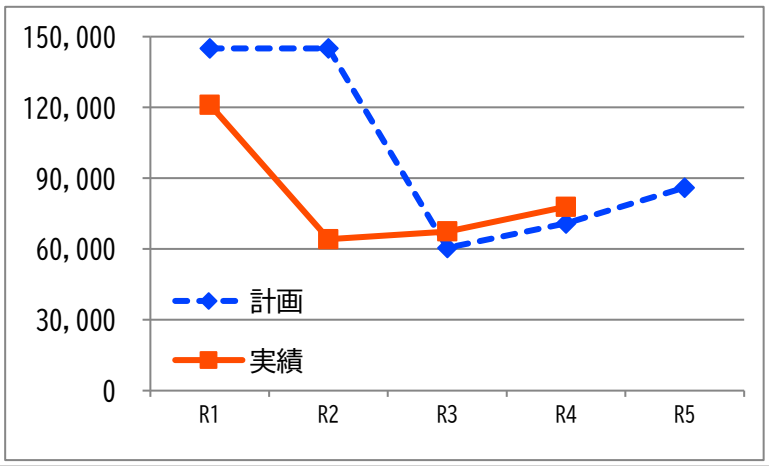
	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	使用料	千円	計画	18,894	17,661	17,265	11,463	35
			実績	19,427	9,531	11,478	13,072	
イ	修繕費	千円	計画	7,659	5,114	2,725	4,585	345
			実績	5,070	7,082	3,735	4,721	

③ 成果指標

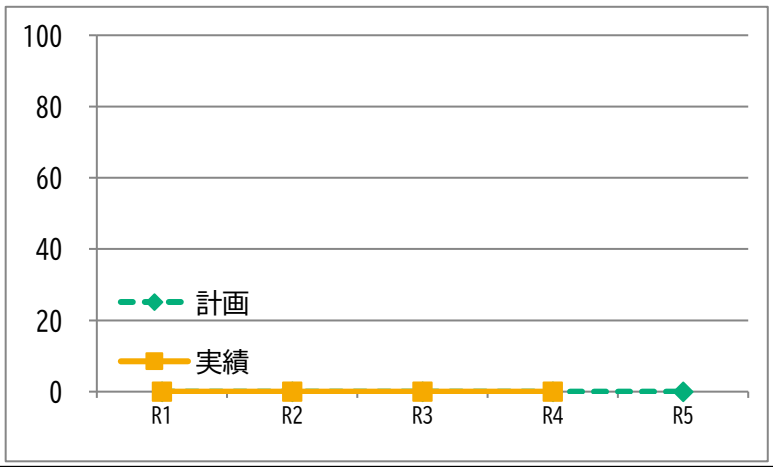
	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	利用者数(総合体育館、野球場、庭球場、弓道場、トレーニングルーム)	増やす	人	計画	145,000	145,000	60,520	70,820	86,000
				実績	121,197	64,181	67,446	77,894	
イ				計画					
				実績					

④成果指標の動向

指標ア　利用者数(総合体育館、野球場、庭球場、弓道場、トレーニングルーム)



指標イ



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算
費目内訳	1. 臨時雇賃金	12,657	14,174	16,054	16,684	0
	2. 需用費	22,818	20,529	18,923	27,918	445
	3. 委託料	17,103	17,511	17,348	17,828	61,336
	4. 役務費	1,238	1,197	1,030	1,059	404
	5. その他	10,750	11,702	8,786	2,626	321
	合計	64,566	65,113	62,141	66,115	62,506
財源内訳	国･県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	690	0	0	0	0
	その他	21,163	13,669	16,279	16,042	35
	一般財源	42,713	51,444	45,862	50,073	62,471
	一般財源の比率	66.2%	79.0%	73.8%	75.7%	99.9%

② 従事職員数

常時	2	人						
最大		人	×		日	＝	延べ	人

③ 各費目の詳細(R4決算)

1.臨時雇賃金	臨時雇賃金
2.需用費	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費
3.委託料	清掃委託料、公園維持管理委託料等
4.役務費	通信運搬費、手数料、保険料
5.その他	放送受信料、機械借上料、共同アンテナ撤去工事等

④ 特定財源の詳細(R4決算)

国･県支出金	
地方債	
その他	使用料、ふるさと応援基金繰入金

⑤ R3→R4　増減理由

1. 微増のみ
2. 電気料金高騰による増
3. 微増のみ
4. 微増のみ
5. バスケットゴール購入費の減

(4)事務事業に関する評価

	判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗	概ね順調	老朽化した設備等を更新したことにより、快適で安心して利用できる環境を提供することができた。 指定管理者制度導入により、民間活力を活用した施設の管理運営が図られる。

② 成果指標の推移（R3→R4）		判定	分析(変動の要因や対策について)
	指標ア	向上	総合体育館メインアリーナの4分の1利用を新たに設定したことにより、利用者の利便性向上が図られた。 総合体育館メインアリーナがワクチン接種会場(10カ月間)であったことから、利用者がサブアリーナや飯岡体育館等への分散利用となった。
	指標イ		

③ 今後の方向性（①･②を踏まえたR5以降の方針）	判定		方針	判定･方針の詳細
	見直し	➡	その他	･総合体育館、スポーツの森公園野球場･庭球場の3施設において、指定管理者による管理運営を行う。 ･弓道場については、継続して弓道協会において管理を行う。

事務事業評価シート　令和　4　年度事後評価・決算

令和　5　年 12　月　1　日

事業コード・事務事業名	43000	コミュニティ広場等管理費

施策体系			
基本施策	6	スポーツの振興
施策の展開	15	スポーツ施設の維持管理
戦略事業名	68	コミュニティ広場等管理

予算科目	会計	款	項	目
	一般	10	5	2
所管課	体育振興課			
担当班	体育施設班			
開始年度	不詳			
根拠法令	特になし			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R4主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

市民がスポーツに親しめる環境として、市有地等をスポーツ施設として貸出及び維持管理を行う。
【施設概要】
1. コミュニティ広場:①仁玉コミュニティ広場(市有地　1箇所　管理委託)、②仁玉スポーツ広場(土地開発公社が道路代替え地として取得している土地　1箇所　利用者による管理)、③新川スポーツ広場(土地開発公社が環境施設として取得している土地　1箇所　環境課から移管され維持管理)
2. 足川浜軽スポーツ場(借地　1箇所　利用者による管理)
【利用手続き】1. コミュニティ広場　利用予約必要　2. 足川浜軽スポーツ場　利用予約不要　【利用料】無料

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

・仁玉スポーツ広場は平成12年から、新川スポーツ広場は平成17年から、土地開発公社所有地の有効活用のため、スポーツ施設として暫定利用することとなった。
・スポーツの利用ができる市有地(市有地及び借地)を貸出できるよう整備した。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

・団体による継続した利用が増えた。
※土地開発公社所有地活用の見通しが、取得時と変わってきた。
・利用者から、施設の維持管理について要望がある。(例年:除草作業等)
・仁玉スポーツ広場は施設の老朽化により、令和5年3月をもって用途廃止とした。今後、跡地の管理・運用方法について検討する必要がある。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
コミュニティ広場の維持・補修を行う	スポーツを行う市民が適正に管理されたコミュニティ広場を利用する	スポーツを行う市民が安全で快適に施設を利用できるようになる	スポーツ施設の維持管理	スポーツの振興	結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績

【コミュニティ広場の維持・補修を行う】
●仁玉コミュニティ広場管理業務委託
●仁玉コミュニティ広場イチョウ伐採業務委託
●社会体育施設除草作業等業務委託(仁玉スポーツ広場)

② 活動指標

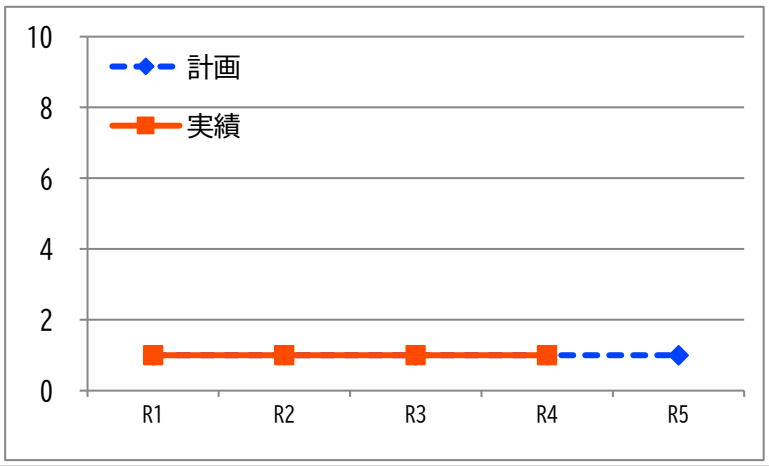
	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	仁玉コミュニティ広場利用日数	日	計画	117	117	118	116	117
			実績	117	96	117	116	
イ	仁玉スポーツ広場利用日数 新川スポーツ広場利用日数	日	計画	117 117	117 117	118 118	116 116	117 117
			実績	54 117	96 96	117 117	116	

③ 成果指標

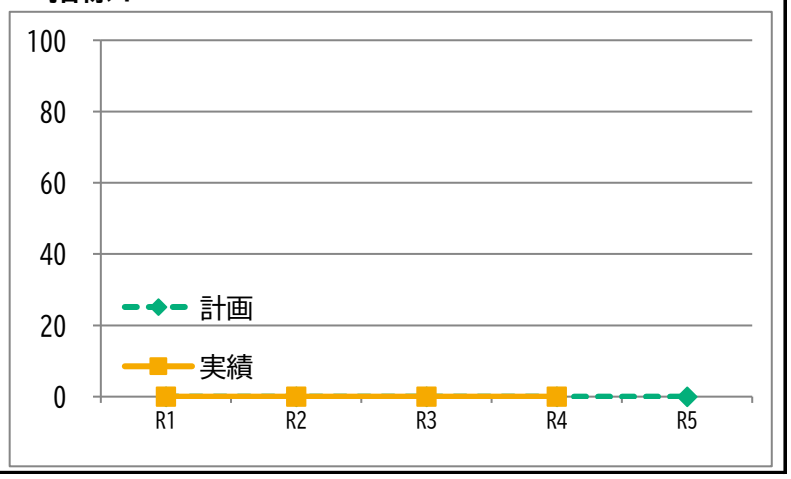
	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	維持管理に関する要望件数	減らす	件	計画	1	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1	
イ				計画					
				実績					

④成果指標の動向

指標ア　維持管理に関する要望件数



指標イ



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算
費目内訳	1. 消耗品費	17	16	20	11	10
	2. 光熱水費	128	128	125	118	105
	3. 修繕料	0	25	870	13	70
	4. 委託料	242	252	179	439	314
	5. その他	164	152	165	94	161
	合計	551	573	1,359	675	660
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	551	573	1,359	675	660
	一般財源の比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

② 従事職員数

常時	1	人

最大		人	×		日	=	延べ		人

③ 各費目の詳細(R4決算)

1.消耗品費	草刈り機部品
2.光熱水費	水道、電気料金
3.修繕料	仁玉コミュニティ広場草刈機修理
4.委託料	維持管理委託、仁玉コミュニティ広場イチョウ伐採委託
5.その他	し尿処理手数料等

④ 特定財源の詳細(R4決算)

国・県支出金	
地方債	
その他	

⑤ R3→R4　増減理由

・修繕工事が必要な故障等が発生しなかったことによる修繕料の減少
・イチョウ伐採要望に伴う業務委託発注による委託料の増加
・その他は微減のみ

(4)事務事業に関する評価

	判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗	順調	施設の点検・維持管理を計画的に行った。また、仁玉スポーツ広場は老朽化しているため、用途廃止を決定し、施設利用者へ周知(掲示)を行った。

② 成果指標の推移（R3→R4）		判定	分析(変動の要因や対策について)
	指標ア	好調維持	施設の点検・維持管理を計画的に実施したことにより、要望件数が横ばいで推移した。
	指標イ		

③ 今後の方向性（①・②を踏まえたR5以降の方針）	判定		方針	判定・方針の詳細
	見直し	➡	縮小	施設の老朽化により仁玉スポーツ広場の用途廃止を決定したため、跡地の管理・運用について関係部署と協議し、市有地の有効活用を検討する。

事務事業評価シート　令和 4 年度事後評価・決算

令和 5 年 12 月 1 日

事業コード・事務事業名	43100	健康づくり運動推進事業

施策体系			
基本施策	5	保健・医療の充実
施策の展開	11	健康づくりの推進
戦略事業名	50	健康づくり運動推進事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	10	5	2
所管課	体育振興課			
担当班	体育施設班			
開始年度	平成9年度			
根拠法令	特になし			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☑ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R4主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

●【総合体育館2階トレーニングルーム】
・利用時間:9時～21時、毎週月曜休館。
・利用方法:講習会受講後に会員登録を行うことで利用可能。(1日最大3時間、高校生以上)
※専門知識の豊富な指導員のもと、一人ひとりの体力に応じたトレーニングメニューの作成や健康相談等も行っている。
①有酸素運動(呼吸しながら普通に運動　例:ウォーキング、エアロバイクなど)
②無酸素運動(例:筋力トレーニング)
・利用料金:市内1時間400円(月極4,000円)、市外1時間600円(月極6,000円)
●【各種講座】
・各種スポーツ教室を開催して運動するきっかけづくりや健康増進を図る。(R4年度:初級テニス教室、軽体操教室、親子卓球教室、青空ヨガ教室)

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

・総合体育館の開設時に体力向上・増進を目的にトレーニングルームを設置し、健康づくり運動推進事業を開始した。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

・利用者の傾向として、健康維持と体力向上等に関心のある50歳代以上の世代や若い世代の利用が見られる。
【利用者からの意見】
・夜間に講習会を開催してほしい
・シャワー使用を解禁してほしい
・マシンの故障修理に時間がかかりすぎる
・人数制限を緩和してほしい

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
・施設の良好な環境を整えるため、マシンの更新、修繕を行う。 ・各種教室の開催	・利用者が安全かつ快適に施設を利用できる。 ・参加者が満足できる魅力ある教室の提供。	・施設及び教室の利用が促進され健康維持・体力向上が図られる。	健康づくりの推進	保健・医療の充実	結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績

【・施設の良好な環境を整えるため、マシンの更新、修繕を行う。・各種教室の開催】
・トレーニングルーム新規利用者講習会の開催
・各種講座の開催(計4教室)
・インターネット予約システムの利用促進
・トレーニング機器の購入
・民間のノウハウを最大限活用し、利用者サービスの向上に資するため、指定管理者の公募を実施し、指定業者と基本協定を締結

② 活動指標

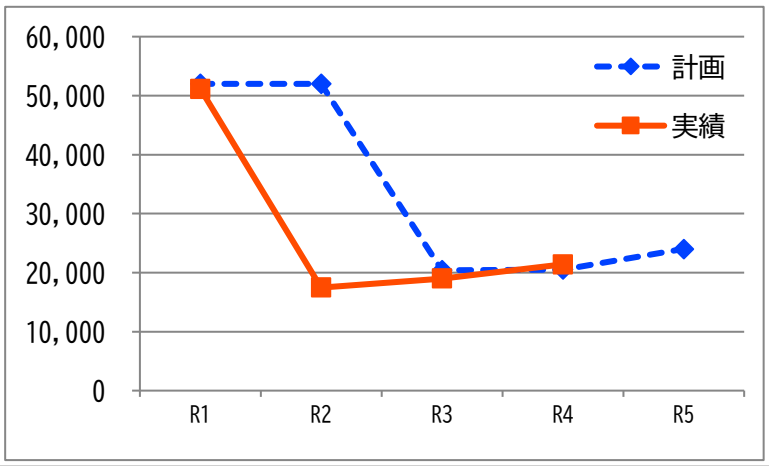
	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	講習会開催回数	回	計画	270	270	103	104	－
			実績	223	65	76	85	
イ	各種講座開催回数	回	計画	58	52	52	50	－
			実績	66	36	43	32	

③ 成果指標

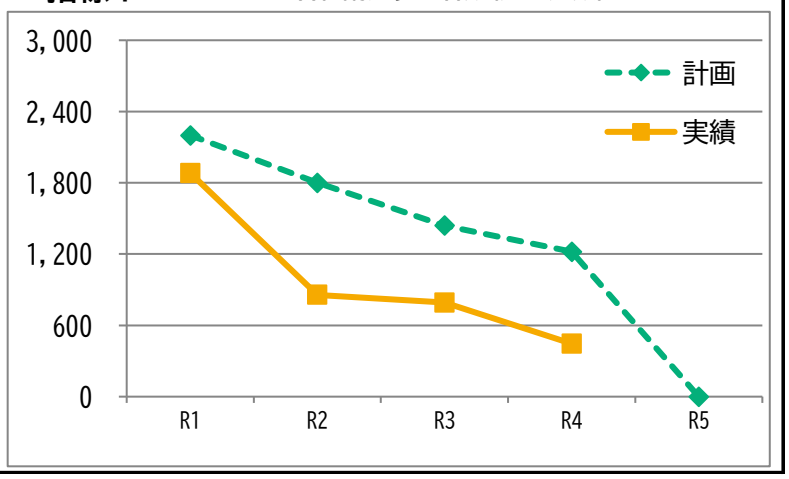
	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	トレーニングルーム利用人数	増やす	人	計画	52,000	52,000	20,400	20,530	24,000
				実績	51,153	17,465	19,004	21,376	
イ	各種講座参加者数(延べ人数)	増やす	人	計画	2,200	1,800	1,440	1,220	－
				実績	1,882	857	791	446	

④成果指標の動向

指標ア　トレーニングルーム利用人数



指標イ　各種講座参加者数(延べ人数)



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算
費目内訳	1. 報償金	367	202	241	158	0
	2. 需用費	855	384	236	262	0
	3. 委託料	7,458	7,865	8,137	8,516	9,996
	4. 借上料	2,725	2,408	2,634	583	0
	5. 備品購入費	210	0	1,287	1,100	0
	6. 補償金	0	0	0	81	0
	合計	11,615	10,859	12,535	10,700	9,996
財源内訳	国･県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	1,287	1,023	0
	一般財源	11,615	10,859	11,248	9,677	9,996
	一般財源の比率	100.0%	100.0%	89.7%	90.4%	100.0%

② 従事職員数

常時 2 人

最大 人 × 日 ＝ 延べ 人

③ 各費目の詳細(R4決算)

1.報償金	スポーツ教室謝礼金
2.需用費	各種消耗品　等
3.委託料	トレーニング指導員派遣委託料　等
4.借上料	トレーニング機器借上料
5.備品購入費	トレーニング機器購入
6.補償金	ニュースポーツ教室運営業務委託契約解除に伴う清算金

④ 特定財源の詳細(R4決算)

国･県支出金	
地方債	
その他	スポーツ振興くじ助成金、教室参加料等

⑤ R3→R4　増減理由

1. 開催回数見直しによる減
2. 微増のみ
3. 微増のみ
4. 再リースによる減
5. 微減のみ
6. 微増のみ

(4)事務事業に関する評価

	判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗	概ね順調	･各種スポーツ教室については、参加者のニーズ合わせた魅力ある教室を開催する必要がある。 ･指定管理者制度導入により、民間活力を活用した施設の管理運営が図られる。

② 成果指標の推移（R3→R4）		判定	分析(変動の要因や対策について)
	指標ア	好調維持	･コロナ禍において人数制限等の感染症対策を徹底、トレーニング機器の更新･修繕を適正に行ったことにより、快適で安心して利用できる環境を提供したことにより、利用者が増加した。
	指標イ	低下	新たに青空ヨガ教室を開催したが、コロナ禍により各種講座の参加者が減少したため低下となった。

③ 今後の方向性（①･②を踏まえたR5以降の方針）	判定		方針	判定･方針の詳細
	見直し	➡	その他	･総合体育館トレーニングルームにおいて、指定管理者による管理運営を行う。 ･各種講座において、指定管理者が継続して開催するほか自主事業として新たな教室を開催する。

事務事業評価シート　令和 4 年度事後評価・決算

令和 5 年 12 月 1 日

事業コード・事務事業名	43200	社会体育施設改修事業

施策体系			
基本施策	6	スポーツの振興
施策の展開	15	スポーツ施設の維持管理
戦略事業名	69	社会体育施設改修事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	10	5	2
所管課	体育振興課			
担当班	体育施設班			
開始年度	平成17年度			
根拠法令	旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☑ 過疎地域持続的発展計画
- ☑ R4主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

旭市総合体育館、旭スポーツの森公園野球場、旭スポーツの森公園庭球場、旭市弓道場、旭文化の杜公園庭球場、海上野球場、海上コミュニティ運動公園野球場、飯岡体育館・野球場、いいおかふれあいスポーツ公園サッカー場・ソフトボール場・多目的広場、干潟さくら台野球場各社会体育施設(13施設)の大規模な改修工事を行う。
【干潟さくら台庭球場は令和4年度廃止】

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

平成17年7月1日の1市3町の合併から、それぞれの市町で整備された社会体育施設の良好な管理運営をするための大規模改修事業が始まった。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

・平成17年7月1日合併時の社会体育施設は17施設あったが、平成23年度に海上体育館及び海上庭球場が廃止、平成24年度に旭文化の杜公園庭球場が新設、平成30年度に飯岡児童体育館が廃止、令和3年度に旭市卓球場及び飯岡庭球場が廃止、令和4年度に干潟さくら台庭球場が廃止され、現在13施設の良好な管理運営をするための大規模改修事業を行っている。
・施設の老朽化に伴い、改修工事の優先順位や類似施設の廃止(施設の統廃合)等の検討が必要である。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
社会体育施設の維持・補修を行う	社会体育施設利用者が適正に管理された社会体育施設を利用する	社会体育施設利用者が安心・安全に施設を利用できるようになる	スポーツ施設の維持管理	スポーツの振興	結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績

【社会体育施設の維持・補修を行う】
●文化の杜公園テニスコート改修工事
●旭文化の杜公園庭球場日除け設置工事

② 活動指標

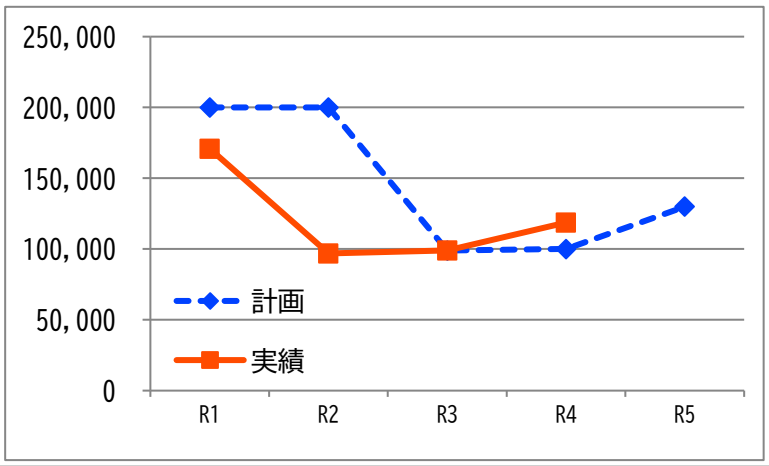
	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	改修工事を実施した箇所数	箇所	計画	5	3	3	1	4
			実績	14	5	4	2	
イ	設計・監理業務の委託数	件	計画	3	1	0	0	0
			実績	0	0	0	0	

③ 成果指標

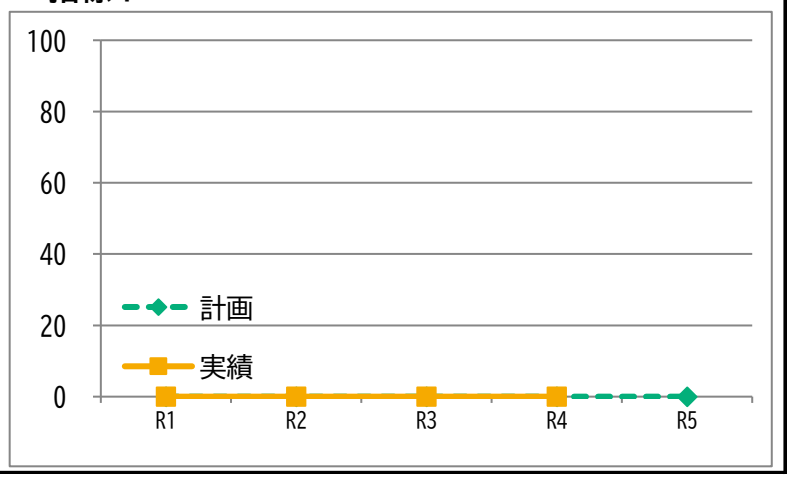
	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	社会体育施設の延べ利用者数	増やす	人	計画	200,000	200,000	98,960	100,000	130,000
				実績	170,869	96,909	98,900	118,667	
イ				計画					
				実績					

④成果指標の動向

指標ア　社会体育施設の延べ利用者数



指標イ



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算
費目内訳	1. 野球場改修工事	9,188	0	0	0	6,800
	2. 庭球場改修工事	0	0	0	24,184	0
	3. 体育館改修工事	199,517	10,856	7,051	0	8,283
	4. 測量・設計委託料	0	0	0	0	0
	5. 空調設備工事	6,820	15,744	13,607	0	0
	合計	215,525	26,600	20,658	24,184	15,083
財源内訳	国・県支出金	0	15,744	0		
	地方債	192,900	0	10,200	21,700	
	その他	0	0	0		3,000
	一般財源	22,625	10,856	10,458	2,484	12,083
	一般財源の比率	**10.5%**	**40.8%**	**50.6%**	**10.3%**	**80.1%**

② 従事職員数

常時	2	人						
最大		人	×		日	=	延べ	人

③ 各費目の詳細(R4決算)

1.野球場改修工事	
2.庭球場改修工事	文化の杜公園テニスコート改修工事等
3.体育館改修工事	
4.測量・設計委託料	
5.空調設備工事	

④ 特定財源の詳細(R4決算)

国・県支出金	
地方債	社会体育施設改修事業債
その他	

⑤ R3→R4　増減理由

・旭文化の杜公園庭球場の改修工事等を実施したことによる庭球場改修工事の増加
・大規模改修が必要な故障等が発生しなかったことによる体育館改修工事、空調設備工事の減少

(4)事務事業に関する評価

		判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗		**順調**	個別施設計画に基づき、計画的に大規模改修工事を実施することにより、施設の長寿命化を推進している。
② 成果指標の推移（R3→R4）	指標ア	**向上**	旭文化の杜公園庭球場をクレーコートから人工芝コートに改修したこと、旭市サッカー場の供用を開始したことにより、施設利用者数が増加した。 また、コロナ禍前と比較すると大幅に減少しているが、新型コロナウイルス感染症に対する知識や対策方法への理解が深まってきたことにより、施設全体的に利用者数が増加傾向にある。
	指標イ		

	判定	方針	判定・方針の詳細
③ 今後の方向性（①・②を踏まえたR5以降の方針）	**継続実施**		個別施設計画に基づき、計画的に施設の大規模改修工事を行い、長寿命化を推進する。

事務事業評価シート　令和　4　年度事後評価・決算

令和　5　年 12　月　1　日

事業コード・事務事業名	43300	サッカー場整備事業

施策体系			
	基本施策	6	スポーツの振興
	施策の展開	15	スポーツ施設の維持管理
	戦略事業名	70	サッカー場整備事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	10	5	2
所管課	体育振興課			
担当班	体育施設班			
開始年度	令和2年度			
根拠法令	特になし			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☑ R4主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

東日本大震災後、飯岡地域の海岸線沿いは空洞化が進んでいる。旧飯岡中学校跡地を利用し、サッカー場等、スポーツを通じて人々の交流の場となるスポーツ施設を建設する。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

平成29年10月11日に「旭市旧中学校跡地利用検討委員会」が設置され、5回にわたる検討の結果、平成30年8月の報告書で旧飯岡中学校跡地はサッカー場等のスポーツ関連施設で利活用することで意見が集約された。サッカー場等の建設に向けた準備を進めている状況である。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

令和4年度にサッカー場の供用を開始したため、本事業は完了とする。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動		提供するモノやサービス		成果		施策の展開		基本施策		基本目標
サッカー場を整備する	➡	市民がサッカー場を利用する	➡	市民がスポーツを通じて交流するようになる	➡	スポーツ施設の維持管理	➡	スポーツの振興	➡	結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績

【サッカー場を整備する】
- ●旭市サッカー場整備工事(R3繰越)
- ●旭市サッカー場管理棟改修工事(R3繰越)
- ●旭市サッカー場外構整備工事(R3繰越)
- ●旭市サッカー場整備工事監理等業務委託(R3繰越)
- ●旭市サッカー場照明設備設置工事(R4)
- ●旭市サッカー場舗装工事(R4)
- ●旭市サッカー場プレオープン記念式典

② 活動指標

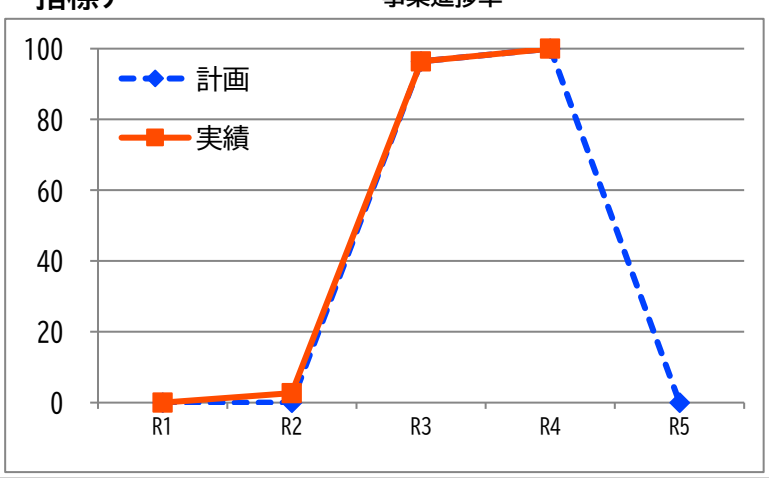
	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	整備箇所数	箇所	計画	－	－	1	1	－
			実績	－	0	0	1	
イ			計画					
			実績					

③ 成果指標

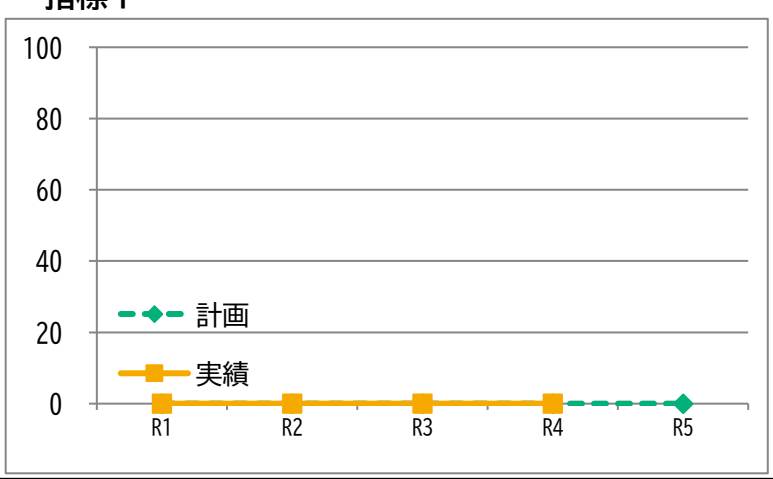
	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	事業進捗率	増やす	%	計画	－	－	96.4	100.0	－
				実績	－	2.7	96.4	100.0	
イ				計画					
				実績					

④成果指標の動向

指標ア　事業進捗率



指標イ



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算
費目内訳	1. 設計･監理委託料	0	7,751	0	5,288	0
	2. 工事請負費	0	－	215,461	197,155	0
	3. 備品購入費	0	0	10,019	0	0
	4. 補償金	0	0	0	258	0
	5. その他	0	0	223	616	0
	合計	0	7,751	225,703	203,317	0
財源内訳	国･県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	－	175,400	173,400	0
	その他	0	7,750	50,506	10,327	0
	一般財源	0	1	-203	19,590	0
	一般財源の比率		**0.0%**	**-0.1%**	**9.6%**	

② 従事職員数

常時	2	人						
最大		人	×		日	＝	延べ	人

③ 各費目の詳細(R4決算)

1.設計･監理委託料	旭市サッカー場整備工事監理等業務委託
2.工事請負費	旭市サッカー場照明設備設置工事他
3.備品購入費	
4.補償金	電線移設
5.その他	旭市サッカー場プレオープン記念式典会場設置委託他

④ 特定財源の詳細(R4決算)

国･県支出金	
地方債	社会体育施設整備事業債
その他	スポーツ振興くじ助成金・繰越明許費繰越金

⑤ R3→R4　増減理由

・旭市サッカー場整備工事の工期延長に伴い、工事監理等業務委託の履行期間を延長し、監理委託料を令和４年度に繰越したため
・サッカー場の早期供用開始に向けて、工事費の大半を占める人工芝の部分引渡しを令和３年度に受けたことによる工事請負費の減少
・令和３年度に備品購入が完了したため
・電線の移設が遅れたことにより、令和４年度に繰越ししたことによる補償金の増加
・プレオープン式典開催に伴う、その他事業費の増加

(4)事務事業に関する評価

	判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗	完了	令和4年度にすべての工事が完成し、サッカー場の供用を開始した。

		判定	分析(変動の要因や対策について)
② 成果指標の推移（R3→R4）	指標ア	向上	令和4年度のサッカー場供用開始に向けて、事業が進捗したため。
	指標イ		

	判定		方針	判定･方針の詳細
③ 今後の方向性（①･②を踏まえたR5以降の方針）	見直し	➡	その他	令和4年度にサッカー場の供用を開始したため、本事業は完了とする。